

(お 知 ら せ)

2026年4月28日
中国電力株式会社

研究・開発戦略の改定について

当社は、「中国電力グループ経営ビジョン 2040」([2025年9月30日お知らせ済み](#))の実現に向け、研究・開発戦略を改定しましたのでお知らせします。

新たなグループ経営ビジョンでは、脱炭素化の潮流加速、燃料価格や卸電力市場のボラティリティ拡大、さらに電力需要の増加など、事業環境の大きな変化を踏まえ、エネルギー供給の安定化と脱炭素化の両立を掲げています。また、中国地域におけるDXや製造業におけるGX進展へ対応していくことも当社グループの使命であるとともに、大きく成長する好機と位置づけています。

これらを踏まえ、今回の改定では、研究・開発として重点的に取り組む「戦略的イノベーション領域」を以下の3つに設定しました。

- 領域Ⅰ エネルギー事業のシンカによる競争力・収益力強化
(DX活用、ビジネスモデル転換、電源の価値最大化、コスト低減等)
- 領域Ⅱ 脱炭素化をはじめとする持続可能な社会の実現
(再生可能エネルギー拡大、調整力向上、火力脱炭素化、資源リサイクル等)
- 領域Ⅲ 地域・社会課題解決を通じた事業領域拡大
(分散型エネルギー資源のマネジメント、技術・ノウハウの横展開等)

当社は今後も、研究開発による価値創造を通じて持続可能な社会の実現と地域の発展に貢献し、グループ経営ビジョン 2040 の実現に向けて取り組んでまいります。

<添付資料>

別紙：研究・開発戦略

以 上

一日も。百年も。



研究・開発戦略

戦略的イノベーション領域に関する研究・開発を通じて
グループ経営ビジョンで目指す世界の実現を支えていく。

中国電力
グループ経営ビジョン
2040で目指す世界

地域社会の活性化
持続的な発展

中国電力グループの
企業価値の向上



I. エネルギー事業のシンカによる競争力・収益力強化

エネルギー事業をシンカ(伸化、進化、深化、新化)する研究・開発により、O&Mコスト低減や付加価値向上を目指す

II. 脱炭素化をはじめとする持続可能な社会の実現

2050年カーボンニュートラル、循環型社会の形成、自然との共生を実現するために必要な研究・開発に取り組む

III. 地域・社会課題解決を通じた事業領域拡大

当社技術・ノウハウ等を活用して地域経済活性化や脱炭素ニーズの高まりなどの地域・社会課題解決に取り組み、収益化する

エネルギー事業のシンカによる競争力・収益力強化

進化(先進技術を活用したDXなど)、新化(エネルギー事業のビジネスモデル転換)、
深化(電源の価値最大化)、伸化(これまで取り組んできたコスト低減等)の4つのシンカを実現。

↑ 進化:高跳び

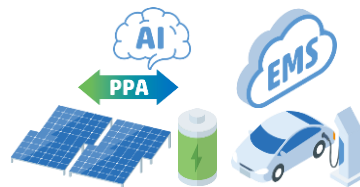


ロボット・ドローンによる巡視省力化

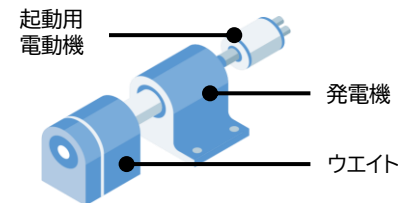
AI・IoTを活用した運用高度化

スマートグラスによる現場作業支援

↗ 新化:斜め跳び



新たなメニュー・サービスの開発

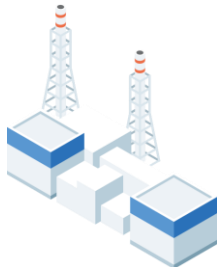


次世代ネットワークを支える
系統安定化技術開発(慣性力など)

↓ 深化:真価を深める

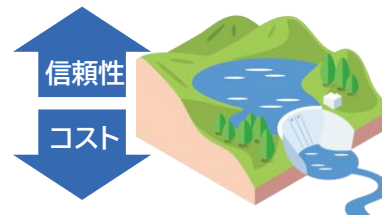


市場取引・リスク管理の高度化

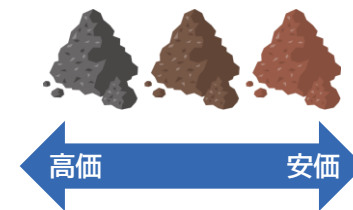


原子力の最大限活用
(安全性向上、廃炉、
中間貯蔵)

→ 伸化:得意を伸ばす



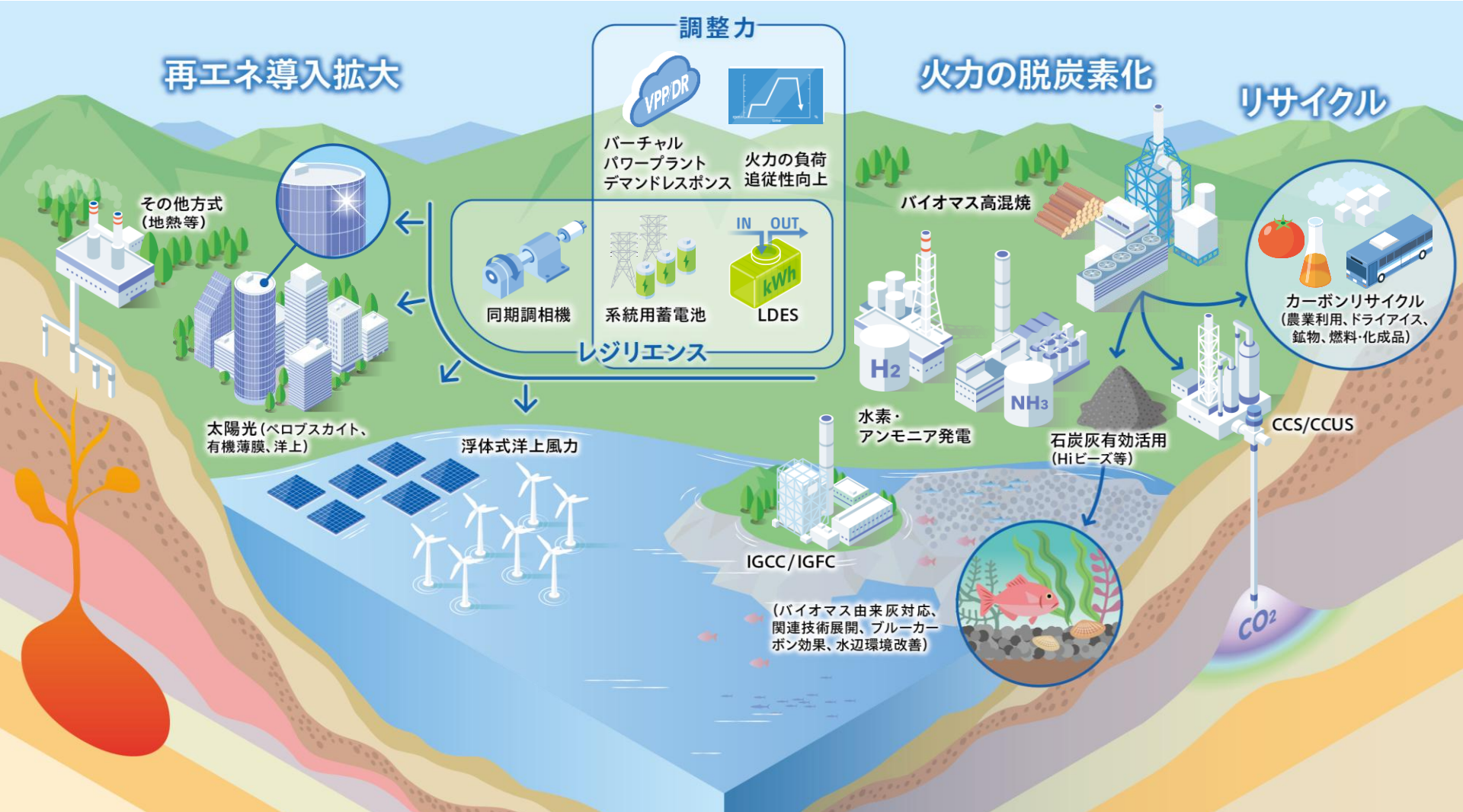
設備・運用改善、経年劣化対応によるコスト低減・信頼性向上



炭種拡大による燃料費低減

脱炭素化をはじめとする持続可能な社会の実現

カーボンニュートラルに向けた再エネ導入拡大とそれを支える調整力向上や火力の脱炭素化、および資源のリサイクル等によって持続可能な社会を実現。



地域・社会課題解決を通じた事業領域拡大

将来期待される電力・情報インフラの最適化(ワット・ビット連携)に寄与する分散型エネルギー資源のマネジメントや当社技術・ノウハウの横展開などによって、地域産業の下支えや地域GXに貢献。

